

3.1.1	請求記号	JP-1005490-古郡
3.1.2	タイトル	古郡家資料 Furugori Family Papers
3.1.3	年代域	1918-1950年代（推測） ※自筆資料は1950年代頃のものと同推測される（資料2に1954年7月16日の新聞記事貼り付けあり）。免状は大正7（1918）、同12（1923）年。
3.1.4	記述レベル	フォンド
3.1.5	数量と媒体	手製の冊子12冊、公刊書籍2冊、画帖1帖、免状等6通、絵葉書18点
3.2.1	作成者名称	古郡家
3.2.2	組織歴・履歴	古郡良雄氏は、その少年期に、義母である古郡静子氏とともに、黒田清輝（1866-1924）の義父である黒田清綱（1830-1917）邸の敷地内に居住した。
3.2.3	伝来	黒田清輝から古郡静子氏に寄贈された黒田作の油彩画作品に伴って古郡家から発見された資料。油彩画作品は大正3（1914）年12月24日寄贈の裏書を持つ。令和5（2023）年3月4日に東京文化財研究所の塩谷純と吉田暁子が調査し、4月8日に一時預かりをした上で、5月9日付けでご寄贈頂いたもの。6月15日に感謝状贈呈を行った。
3.2.4	収集又は移管による入手先	遺族からの寄贈
3.3.1	範囲・内容	古郡良雄氏が、黒田清輝と清綱の事跡、また彼等が起居した麻布や鎌倉の環境等について記録した直筆資料12冊と、黒田清輝に関する書籍、関係者の経歴を示す免状、黒田の甥にあたる頼綱とその妻の作品の絵葉書、黒田清輝自筆書簡。
3.3.4	編成	-
3.4.1	公開条件	事前申込制 閲覧は事前申込制（原則閲覧希望日の1週間以上前）。また、著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での公開となるため、閲覧が制限される場合がある。（→閲覧申請）
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	日本語
3.4.4	物理的特徴・技術要件	紙媒体資料
3.4.5	検索手段	下の「内容一覧」で検索可能。
3.5.3	関連記述単位	-
3.5.4	出版書誌情報	吉田暁子「古郡家資料の受入」（東京文化財研究所 活動報告、2023年6月、 <a href="https://www.tobunken.go.jp/materials/katudo/2040556.html">https://www.tobunken.go.jp/materials/katudo/2040556.html</a> ）
3.7.1	担当者	吉田暁子、塩谷純
3.7.3	記述年月日	2023年12月14日

## 内容一覧

番号	資料名	筆者	形状/数量	年代	備考
1	彼頃の麻布 記事	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
2	彼頃の麻布 図面其他	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
3	黒田清輝記事集 全	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
4	黒田清綱記事集 上	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
5	黒田清綱記事集 上續	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
6	黒田清綱記事集 下	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
7	黒田清綱記事集 下續	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
8	黒田清綱記事集 拾遺	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
9	彼頃の鎌倉 記事	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
10	瀧園遺響 黒田清綱詠	古郡良雄	冊子/1冊		古郡良雄による和綴じ自筆資料
11	日記 上下 秋山暁波記 小林戀波抄		冊子/1冊		和綴じ資料
12	鎌倉避暑日記 勝井耕波記		冊子/1冊		和綴じ資料
13	黒田清輝先生遺作展覧会目録		冊子/1冊	1924年	
14	黒田清輝作品全集		冊子/1冊	1925年	
15	記念(黒田清輝遺作記念画集)		画帖(まくり)	1924年	
16	華道免状(黒田静子宛)		書状、印刷物/	1923年	「家元生花脇教授」1点、生花略図を印刷した紙片2点
17	華道免状(黒田静子宛)		書状/1包(1枚)	1924年	「修了証」
18	華道免状(黒田静子宛)		書状/1包(1枚)	1923年	「家元生花脇教授」
19	華道免状(黒田静子宛)		書状/1包(1枚)	1923年	「盛花教授」
20	華道免状(黒田静子宛)		書状/1包(1枚)	1924年	「入門証」
21	雅号		書状/1包(1枚)	1918年	「清芳流投入花雅号」
22	黒田夫妻絵葉書		葉書/1包(18枚)		黒田頼綱夫妻による文展出品作の絵葉書